

第5回与謝野町産業振興会議 会議報告書

日 時 令和6年3月9日(水)午後6時30分～午後8時00分

会 場 岩滝保健センター2階 会議室1、2

出 席(敬称略)

西原 新介	佐々木 由美子	宮崎 輝彦	小林 厚美
砂後 隆正	戸田 健太郎	太田 桂史	青木 一博
小山 大介	長島 由昇	真柴 好雄	小谷 優衣

欠 席(敬称略)

堀井 健司	岩西 拓男	河邊 輝王	木原 綱雄
濱田 祐太			

事務局

産業観光課 市田課長	同 大上主幹	同 井上係長	同 荒木主査
同 西原主査	同 糸井主査	社会教育課 井崎係長	

傍聴者 0名

<会議要旨>

1. 開会

2. 議事

(1)前回の振り返り

- 改めて、「地域内経済循環の拡大に向けた取組み」について落とし込んだ。
- 令和6年度施策立案に向けてみんなやろうでまちづくり条例の基本的施策の「創業」、「地域内経済循環」、「人材確保・育成」に係る施策内容の検討を3グループの分かれて行った。

(2)令和6年度予算 産業振興関連事業の共有について

- 与謝野町産業振興事業費補助金の改正について
- 町内事業者リクルーティング強化事業の拡充について

●企業人材確保支援事業の新設について

<インターンシップについて 各委員からの意見>

- ・弊社は現状、人材不足には悩んでいないが、若い視点を取り入れることで事業拡大や新たなビジネス化できる可能性はあると思う。
- ・インターンシップ事業自体は良い。新たな視点を取り入れるチャンス。
- ・弊社としても事業実施の際は、参加していきたい。
- ・学生からの視点としては、インターンシップの目的としては業界・企業理解、社風を実感できる良い機会。大学3回生のインターンシップの参加意欲は高いものがあるので、自社を理解してもらうためにも企業側からのプレゼンは長い方が良いのではないかな。
- ・建設業においては、実際に作業を体験してもらえないのがネック。例えば、5日間の受入期間だと受入側の準備等が大変になるので、短期間の受入れも視野に考えていく必要があるのではないかな。
- ・交通手段の支援も必要になってくる。

●よさの住環境改善省エネ家電買換応援事業の新設について

●地産地消実態調査事業の実施について

(3)令和6年度検討議題について

- 観光をテーマに検討していく

3. 閉会